

平成24(2012)年2月11日第122号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077
Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)
Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

新入園児、新入学児面談

2月4日(土)、次年度の本校への入園入学希望者の面談を行いました。午前中は幼稚園部、午後は小学部への入園入学希望者を対象に行い、子どもたちは緊張



の面差しで先生の質問に答えていました。

結果は今月中下旬、保護者にお知らせすることになっています。

【入園、入学、転入】の規定

本校への入園入学の基準について、学校要覧中、「教育目標」には「日本語のできる子どもに・・・」とあり、日本語での会話が出来ることが前提条件になっています。よって、日本にあるような英会話教室で英会話を教えるような教育目標ではありません。

また、本校規定《入園、入学、転入》では、「幼稚園入園及び転入に際しては、面談を通じて本園での活動に適應できる日本語力を判断し、入園及び転入を認める。」とあります。同様に、小学部・中学部入学及び転入に際しては、「面談を通じて日本語による学習能力を判断し、入学・転入を認める。」とあります。

【卒園、卒業、修了、進級】の規定

1. 留年

日本語力に同学年と生徒と著しい差があり進級が難しいと判断された場合、あるいは出席日数が2/3以下である場合には、留年となることもある。

本校で学習活動を希望する園児、児童生徒は、学齢相当の日本語力があることが大前提であり、その力が著しく不足している場合には、入園・入学や転入を認める事が困難になります。また、進級等も困難である事をこれらの規定が示しています。

児童生徒、保護者各位にありましては、十分にこの規定をご理解くださるようお願いいたします。

賞状伝達式

海外子女文芸作品コンクール入選

2月4日(土)、標題の賞状伝達式を始業前に行いました。

今年度はたくさんの児童生徒が応募したのですが、俳句の部門で4名が佳作入賞となり、公益法人海外子女教育振興財団瀬谷博道会長の賞状と銅メダルを伝達授与しました。入賞、おめでとうございます。



惜しくも入賞を逃した人たちは来年度入賞を目指して、日本語力の向上や、日記を欠かさず書くことなどを通して作文や詩、俳句などの表現力の向上にがんばってください。

入賞者と作品は次の通りです。

- 小3A 保阪明奈 (安田学級)
風りんを わたしのねこも 聞いている
- 小4B 藤本莉乃 (樽谷学級)
せみの声 家までの坂 まだ遠い
- 小5A スプリンガー茉莉 (岡崎学級)
鳥の巣が 木の間から 見えかくれ
- 小5A 島崎奏南 (岡崎学級)
牛たちが 夏草たべる 地平線

第3回漢字検定実施 合格を祈ります

2月4日(土)、放課後、カフェテリアで漢字検定を実施しました。今年度最後の漢字検定であることから、この1年間の成果を確認する上からも、2級から



10級まで過去最多の114人の児童生徒などが受験しました。

結果は年度末近くに連絡があると思いますが、全員の合格を心から祈っています。

もうすぐ卒園式、卒業式、終了式

《 折り目正しく 》

【卒業式・証書】

3月17日(土)、卒業式等が挙行されます。普段、私たちは「卒業式」と称していますが、正式には「卒業証書授与式」と言い、小学校等の教育課程を履修したことを証する証書の授与を行う儀式を指します。この証書が上級の学校に進学する資格書ともなるものです。

また、「修了証書」は児童・生徒が在籍する学年の教育課程を履修したと認められるときに発行する証書で、通常は、通知表の最終ページにその文言が記載され、学校長の公印が捺印されているものです。この証書に公印の捺印がない場合は、該当する教育課程を履修したとは認められないものです。

補習校の場合は、日本の教育課程を完全に履修出来ないことから、本校独自の教育課程を作成し、その課程を履修した園児、児童生徒に修了証書や卒業証書を授与しています。

【儀式的行事としての卒業式のあり方】

ところで、日本の学習指導要領では、これら卒業式入学式などの「儀式的行事」について次のように記載されています。

【特別活動編】の「学校行事」の項目中「儀式的行事」で、「学校生活に有意義な変化や折り目をつけ、厳粛で新たな気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるような活動を行うこと」と位置づけています。

ここにある「厳粛で清新な気分」を味わう機会が、補習校の行事の中でも、特に少なくなっているように思われます。一人の人間が成長し、社会人として自立する過程で、いくつもの儀式を通過しなくてはならないと思います。その心構えと経験を体得しておくことが極めて大切であると思っています。

一つの儀式を挙行するとき、日本であれば本番に備えての予行や準備に時間を確保することも可能ですが、補習校の場合、授業時数の確保や指導内容の確保を求めるときには、貴重な時間をカットして練習などに費やす余裕がないのが現実なのです。よって、予行や練習には最低限の時間内で「厳粛にしてシンプルな卒業式にしたい」と願っています。保護者の皆様にもありまして、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

2月の儀式と言えば・・・立志式

立志式の由来は、大人の仲間入りとなる昔の「元服」にならっているとも、孔子の論語「吾十有五にして學に志す」に由来するとも言われている。現在は主に中学2年生を対象に開催されています。2月のこの時期は、3年生への進級を控え、自分の進路や生き方について考え、お互いに学び合う機会として大きな意味をもっています。

「立志」を文字通りに解釈をすれば、「志を立てること」となります。

因みに孔子の言葉を集めた「論語」(為政編)には、次のように書かれています。

子曰、吾十有五而志乎學、三十而立、四十而不惑、五十而知天命、六十而耳順、七十而從心所欲不踰矩。

読み下し文にすると、

子曰く、吾(われ)十有五にして學に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う(したがう)。七十にして心の欲する所に従えども矩(のり)を踰えず(こえず)

となります。

これを簡単に訳すると、

わたしは十五歳で學問に志し、三十になって独立した立場を持ち、四十になってあれこれと迷わず、五十になって天命(人間の力を超えた運命)をわきまえ、六十になって人の言葉がすなおに聞かれ、七十になると思うままにふるまっても、そのことで道はずすようなことはなかった。

人の一生には色々な節目や記念日があります。これらの日は、今までのことを振り返りつつ、未来に向かって健康で活躍できるように努力しようとする立志の日でもあると思います。

本校の園児、児童生徒の益々の活躍と清新なる志を立て、がんばってくれることを期待するとともに祈念しています。

【お知らせ】プリンストン日本語補習校長と電話で話しましたら、プリンストン大学生数十人がノロウイルスに罹患したとのことです。手洗いやうがいでの励行、罹患したら登校しないでください。

◆パトロール当番予定表2月18日◆

～よろしくお願ひします～

| | 学年 | 順位 | 児童生徒氏名 |
|-----------|----|-----|--------|
| ★AM1 リーダー | 小5 | 2 1 | 大原涼太郎 |
| | | 2 2 | 鈴鹿勇輝 |
| | | 2 3 | 三浦茉弥 |
| | | 2 4 | 油井大地 |
| | | 2 5 | 飯塚はるの |
| | | 2 6 | 岸田紗江 |
| | | 2 7 | 久和野恭平 |
| ★PM1 リーダー | 小5 | 2 8 | 島崎奏南 |
| | | 2 9 | 橋本 輝 |
| | | 3 0 | 本村 晏 |
| | | 3 1 | 中邑亮太 |
| | | 3 3 | 塩田彩乃 |
| | 小6 | 1 | 金山遼太郎 |
| | | 2 | 岡崎公士朗 |